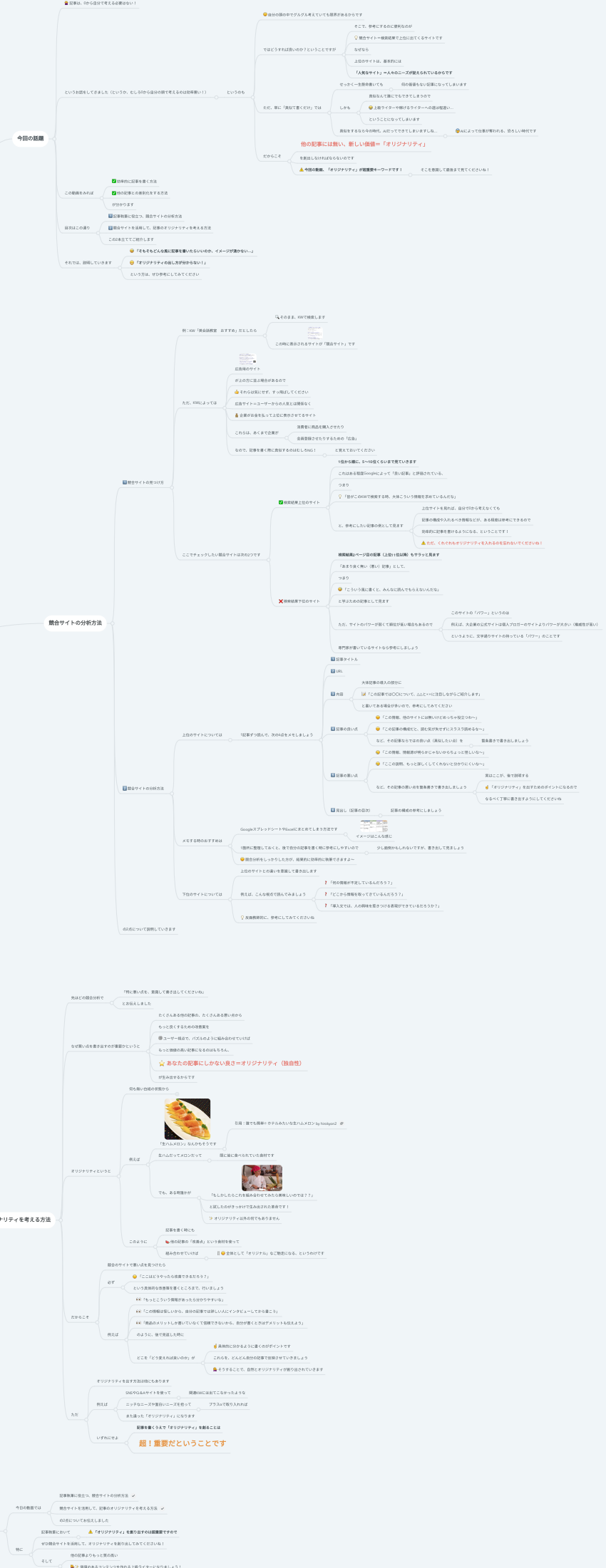


# 1章4項 執筆に活かせる競合サイトの読み方



記事は、中から自分で選ぶ必要はない！

自分の価値観やスタイルを押し付けても読者は選んでくれる

競合記事のスタイルを参考にすることは、参考にするに過ぎない

今日の課題

競合記事のスタイルを参考にすることは、参考にするに過ぎない

競合記事のスタイルを参考にすることは、参考にするに過ぎない

競合サイトの分析方法

競合サイトの分析方法

競合サイトの分析方法

記事のオリジナリティを考える方法

記事のオリジナリティを考える方法

記事のオリジナリティを考える方法

競合記事のスタイルを参考にすることは、参考にするに過ぎない

競合記事のスタイルを参考にすることは、参考にするに過ぎない

競合記事のスタイルを参考にすることは、参考にするに過ぎない

競合記事のスタイルを参考にすることは、参考にするに過ぎない

競合記事のスタイルを参考にすることは、参考にするに過ぎない

競合記事のスタイルを参考にすることは、参考にするに過ぎない

競合記事のスタイルを参考にすることは、参考にするに過ぎない

競合記事のスタイルを参考にすることは、参考にするに過ぎない

競合記事のスタイルを参考にすることは、参考にするに過ぎない

記事のオリジナリティを考える方法

記事のオリジナリティを考える方法

記事のオリジナリティを考える方法

まとめ

記事のオリジナリティを考える方法

記事のオリジナリティを考える方法

# 1章6項 執筆に活かせる競合サイトの読み方

## 1. 今回の話題

1.1. 記事は、0から自分で考える必要はない！

1.2. というお話をしてきました（というか、むしろ0から自分の頭で考えるのは効率悪い！）

1.2.1. というのも

1.2.1.1. 自分の頭の中でグルグル考えていても限界があるからです

1.2.1.2. ではどうすれば良いのか？ということですが

1.2.1.2.1. そこで、参考にするのに便利なのが

1.2.1.2.2. 競合サイト＝検索結果で上位に出てくるサイトです

1.2.1.2.3. なぜなら

1.2.1.2.4. 上位のサイトは、基本的には

1.2.1.2.5. 「人気なサイト」＝人々のニーズが捉えられているからです

1.2.1.3. ただ、単に「真似て書くだけ」では

1.2.1.3.1. せっかく一生懸命書いても

1.2.1.3.1.1. 何の価値もない記事になってしまいます

1.2.1.3.2. しかも

1.2.1.3.2.1. 真似なんて誰にでもできてしまうので

1.2.1.3.2.2. 上級ライターや稼げるライターへの道は程遠い...

1.2.1.3.2.3. ということになってしまいます

1.2.1.3.3. 真似をするなら今の時代、AIだってできてしまいますしね...

1.2.1.3.3.1. AIによって仕事が奪われる、恐ろしい時代です

1.2.1.4. だからこそ

1.2.1.4.1. 他の記事には無い、新しい価値＝「オリジナリティ」

1.2.1.4.2. を創出しなければならないのです

1.2.1.4.3. 今回の動画、「オリジナリティ」が超重要キーワードです！

1.2.1.4.3.1. そこを意識して最後まで見てくださいね！

1.3. この動画をみれば

1.3.1. 効率的に記事を書く方法

1.3.2. 他の記事との差別化をする方法

1.3.3. が分かります

## 1.4. 目次はこの通り

1.4.1. 記事執筆に役立つ、競合サイトの分析方法

1.4.2. 競合サイトを活用して、記事のオリジナリティを考える方法

1.4.3. この2本立てでご紹介します

## 1.5. それでは、説明していきます

1.5.1. 「そもそもどんな風に記事を書いたらいいのか、イメージが湧かない...」

1.5.2. 「オリジナリティの出し方が分からない！」

1.5.3. という方は、ぜひ参考にしてみてください

## 2. 競合サイトの分析方法

### 2.1. 競合サイトの見つけ方

2.1.1. 例：KW「英会話教室 おすすめ」だとしたら

2.1.1.1. そのまま、KWで検索します

2.1.1.2. この時に表示されるサイトが「競合サイト」です

2.1.2. ただ、KWによっては

2.1.2.1. 広告用のサイト

2.1.2.2. が上の方に並ぶ場合があるので

2.1.2.3. それらは気にせず、すっ飛ばしてください

2.1.2.4. 広告サイト＝ユーザーからの人気とは関係なく

2.1.2.5. 企業がお金を払って上位に表示させてるサイト

2.1.2.6. これらは、あくまで企業が

2.1.2.6.1. 消費者に商品を購入させたり

2.1.2.6.2. 会員登録させたりするための「広告」

2.1.2.7. なので、記事を書く際に真似するのはむしろNG！

2.1.2.7.1. と覚えておいてください

2.1.3. ここでチェックしたい競合サイトは次の2つです

2.1.3.1. 検索結果上位のサイト

2.1.3.1.1. 1位から順に、5～10位くらいまで見ていきます

2.1.3.1.2. これはある程度Googleによって「良い記事」と評価されている、

2.1.3.1.3. つまり

2.1.3.1.4. 「皆がこのKWで検索する時、大体こういう情報を求めているんだな」

#### 2.1.3.1.5. と、参考にしたい記事の例として見ます

2.1.3.1.5.1. 上位サイトを見れば、自分で0から考えなくても

2.1.3.1.5.2. 記事の構成や入れるべき情報などが、ある程度は参考にできるので

2.1.3.1.5.3. 効率的に記事を書けるようになる、ということです！

2.1.3.1.5.4. ただ、くれぐれもオリジナリティを入れるのを忘れないくださいね！

#### 2.1.3.2. 検索結果下位のサイト

2.1.3.2.1. 検索結果2ページ目の記事（上位11位以降）もサラッと見ます

2.1.3.2.2. 「あまり良く無い（悪い）記事」として、

2.1.3.2.3. つまり

2.1.3.2.4. 「こういう風を書くと、みんなに読んでもらえないんだな」

2.1.3.2.5. と学ぶための記事として見ます

2.1.3.2.6. ただ、サイトのパワーが弱くて順位が低い場合もあるので

2.1.3.2.6.1. このサイトの「パワー」というのは

2.1.3.2.6.2. 例えば、大企業の公式サイトは個人ブロガーのサイトよりパワーが大きい（権威性が高い）

2.1.3.2.6.3. というように、文字通りサイトの持っている「パワー」のことです

2.1.3.2.7. 専門家が書いているサイトなら参考にしましょう

### 2.2. 競合サイトの分析方法

#### 2.2.1. 上位のサイトについては

2.2.1.1. 1記事ずつ読んで、次の6点をメモしましょう

2.2.1.1.1. 記事タイトル

2.2.1.1.2. URL

2.2.1.1.3. 内容

2.2.1.1.3.1. 大体記事の導入の部分に

2.2.1.1.3.2. 「この記事では〇〇について、△△と××に注目しながらご紹介します」

2.2.1.1.3.3. と書いてある場合が多いので、参考にしてみてください

2.2.1.1.4. 記事の良い点

2.2.1.1.4.1. 「この情報、他のサイトには無いけどめっちゃ役立つわ〜」

2.2.1.1.4.2. 「この記事の構成だと、読む気が失せずにスラスラ読めるな〜」

2.2.1.1.4.3. など、その記事ならではの良い点（真似したい点）を

2.2.1.1.4.3.1. 箇条書きで書き出しましょう

2.2.1.1.5. 記事の悪い点

2.2.1.1.5.1. 「この情報、情報源が明らかじゃないからちょっと怪しいな〜」

2.2.1.1.5.2. 「ここの説明、もっと詳しくしてくれないと分かりにくいな〜」

2.2.1.1.5.3. など、その記事の悪い点を箇条書きで書き出しましょう

2.2.1.1.5.3.1. 実はここが、後で説明する

2.2.1.1.5.3.2. 「オリジナリティ」を出すためのポイントになるので

2.2.1.1.5.3.3. なるべく丁寧に書き出すようにしてくださいね

2.2.1.1.6. 見出し（記事の目次）

2.2.1.1.6.1. 記事の構成の参考にしましょう

2.2.2. メモする時のおすすめは

2.2.2.1. GoogleスプレッドシートやExcelにまとめてしまう方法です

2.2.2.1.1. イメージはこんな感じ

2.2.2.2. 1箇所に整理しておくのと、後で自分の記事を書く時に参考にしやすいので

2.2.2.2.1. 少し面倒かもしれませんが、書き出して見ましょう

2.2.2.3. 競合分析をしっかりした方が、結果的に効率的に執筆できますよ〜

2.2.3. 下位のサイトについては

2.2.3.1. 上位のサイトとの違いを意識して書き出します

2.2.3.2. 例えば、こんな視点で読んでみましょう

2.2.3.2.1. 「何の情報が不足しているんだろう？」

2.2.3.2.2. 「どこから情報を取ってきているんだろう？」

2.2.3.2.3. 「導入文では、人の興味を惹きつける表現ができていだろうか？」

2.2.3.3. 反面教師的に、参考にしてみてくださいね

2.3. の2点について説明していきます

### 3. 記事のオリジナリティを考える方法

3.1. 先ほどの競合分析で

3.1.1. 「特に悪い点を、意識して書き出してくださいね」

3.1.2. とお伝えしました

3.2. なぜ悪い点を書き出すのが重要かということ

3.2.1. たくさんある他の記事の、たくさんある悪い点から

3.2.2. もっと良くするための改善案を

3.2.3. ユーザー視点で、パズルのように組み合わせれば

3.2.4. もっと価値の高い記事になるのはもちろん、

3.2.5. あなたの記事にしかない良さ＝オリジナリティ（独自性）

3.2.6. が生み出せるからです

3.3. オリジナリティというと

3.3.1. 何も無い白紙の状態から

3.3.1.1. 己のセンスを信じて

3.3.1.2. 画家のように「もの凄いもの」を創り出す

3.3.1.2.1. イメージがありますが

3.3.1.3. 実は既にある要素の組み合わせも

3.3.1.3.1. れっきとした「オリジナリティ」です

3.3.2. 例えば

3.3.2.1. 「生ハムメロン」なんかもそうです

3.3.2.1.1. 引用：誰でも簡単♪ホテルみたいな生ハムメロン by hirokyon2

リンク: <https://cookpad.com/recipe/3330747>

3.3.2.2. 生ハムだってメロンだって

3.3.2.2.1. 既に皆に食べられていた食材です

3.3.2.3. でも、ある時誰かが

3.3.2.3.1. 「もしかしたらこれを組み合わせたら美味しいのでは??」

3.3.2.3.2. と試したのがきっかけで生み出された革命です！

3.3.2.3.3. オリジナリティ以外の何でもありません

3.3.3. このように

3.3.3.1. 記事を書く時にも

3.3.3.2. 他の記事の「改善点」という食材を使って

3.3.3.3. 組み合わせれば

3.3.3.3.1. 全体として「オリジナル」なご馳走になる、というわけです

3.4. だからこそ

3.4.1. 競合のサイトで悪い点を見つけたら

3.4.2. 必ず

3.4.2.1. 「ここはどうやったら改善できるだろう？」

3.4.2.2. という具体的な改善策を書くところまで、行いましょう

3.4.3. 例えば

3.4.3.1. 「もっとこういう情報があったら分かりやすいな」

3.4.3.2. 「この情報は怪しいから、自分の記事では詳しい人にインタビューしてから書こう」

3.4.3.3. 「商品のメリットしか書いていなくて信頼できないから、自分が書くときはデメリットも伝えよう」

3.4.3.4. のように、後で見返した時に

3.4.3.5. どこを「どう変えれば良いのか」が

3.4.3.5.1. 具体的に分かるように書くのがポイントです

3.4.3.5.2. これらを、どんどん自分の記事で反映させていきましょう

3.4.3.5.3. そうすることで、自然とオリジナリティが創り出されていきます

3.5. ただ

3.5.1. オリジナリティを出す方法は他にもあります

3.5.2. 例えば

3.5.2.1. SNSやQ&Aサイトを使って

3.5.2.1.1. 関連KWには出てこなかったような

3.5.2.2. ニッチなニーズや面白いニーズを拾って

3.5.2.2.1. プラスαで取り入れれば

3.5.2.3. また違った「オリジナリティ」になります

3.5.3. いずれにせよ

3.5.3.1. 記事を書くうえで「オリジナリティ」を創ることは

3.5.3.2. 超！重要だということです

## 4. まとめ

4.1. 今日の動画では

4.1.1. 記事執筆に役立つ、競合サイトの分析方法

4.1.2. 競合サイトを活用して、記事のオリジナリティを考える方法

4.1.3. の2点についてお伝えしました

4.2. 特に

4.2.1. 記事執筆において

4.2.1.1. 「オリジナリティ」を創り出すのは超重要ですので

4.2.2. ぜひ競合サイトを活用して、オリジナリティを創り出してみてくださいね！

4.2.3. そして

4.2.3.1. 他の記事よりもっと質の高い

4.2.3.2. 価値のあるコンテンツを作れる上級ライターになりましょう！